

■CBTによる検定試験の受験に関するアンケート集計結果

2024年3月19日 現在

回答校した学校の数

516 校

1. CBTでは、全国一斉受験でなく、全商協会が定めた受験可能試験期間内から各校が実施日を定めて実施できる方式とする予定です。

1-① 次のうち、実施日として選択肢に加えたいものはどれですか。（複数選択可）

	学校の休日（土、日、祝日など）の実施	平日放課後の実施	平日授業時間中の実施	長期休業中の実施
選択校数	376	390	255	232
比率（選択校数／回答校数）	72.9%	75.6%	49.4%	45.0%

1-② 次のうち、実際の実施日として選択する可能性の最も高いものはどれですか。

	学校の休日（土、日、祝日など）の実施	平日放課後の実施	平日授業時間中の実施	長期休業中の実施
選択校数	248	162	95	11
比率（選択校数／回答校数）	48.1%	31.4%	18.4%	2.1%

1-③ 次のうち、実施が困難と考えられるものはどれですか。（複数選択可）

	学校の休日（土、日、祝日など）の実施	平日放課後の実施	平日授業時間中の実施	長期休業中の実施
選択校数	76	132	298	254
比率（選択校数／回答校数）	14.7%	25.5%	57.6%	49.1%

2. CBTでは、受験者が「試験終了」の送信をした時点で、即時に採点して結果を発表することも可能です。

結果の発表について、最も適切と思われる運用はどれですか。

	受験者が「試験終了」の送信をした時点で、結果を発表することが望ましい	システムで統一された一定期間後（翌日等）に発表することが望ましい。
選択校数	204	312
比率（選択校数／回答校数）	39.5%	60.5%

3. CBTでは、各検定試験を年間2回以上実施できるようにすることも可能です。

3-① 試験の実施回数について最も適切と思われる運用はどれですか。

	現在の検定試験の受験可能回数と同じとすることが望ましい。	各検定試験を年2回（前期、後期）程度、受験可能とすることが望ましい。	各検定試験を年3回（各学期1回）程度、受験可能とすることが望ましい。	期間を設けず、何回でも実施できるようにすることが望ましい。
選択校数	97	103	126	190
比率（選択校数／回答校数）	18.8%	20.0%	24.4%	36.8%

3-② 生徒が同一検定の同一級を受験することができる回数について。最も適切と思われる運用はどれですか。

	年間の受験可能回数を制限することが望ましい。	年間の受験可能回数を制限しないことが望ましい。
選択校数	131	385
比率（選択校数／回答校数）	25.4%	74.6%

●実施環境検証のための模擬試験について

	希望する	希望しない
選択校数	268	215
比率（選択校数／回答校数）	55.5%	44.5%